

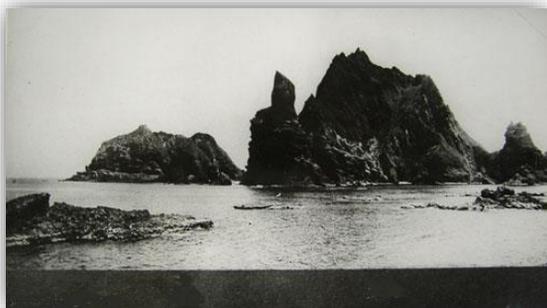
島根県議会の「慰安婦意見書」 撤回を求めます

島根県議会は、日本軍慰安婦は「女性を強制的に性奴隷」と記す意見書を採択しました。（裏面参照）

私たちはこの意見書の撤回を求める請願を18回、県議会に出し続けました。



米加州グレンデール市
「日本軍性奴隷」慰安婦像



しかし、県議会は河野談話を理由に否決しつづけています。竹島の島根県がこれでいいのでしょうか？

～意見書撤回を求める有志 からのメッセージ～

日本を貶める歴史プロパガンダがあります。日本海＝東海、徴用工＝強制労働、竹島＝独島、慰安婦＝性奴隷。盧武鉉大統領は「竹島の日」を「過去の侵略を正当化し、大韓民国の独立を否定する行為」と批判しました。韓国は、竹島問題と慰安婦問題を一体化させ竹島問題の封印を謀ろうとしています。竹島の島根県議会こそが慰安婦問題の本質を理解し、正しい歴史認識を発信すべきではないでしょうか。県議会がこのような慰安婦意見書を採択したのは県民として許せません。しかも意見書は共産党系女性団体の請願がベースなのです。県議会は何故このような意見書に固執し続けるのでしょうか。県民は撤回を求めているのです。

～島根県大田市議会議員 清水好氏からのメッセージ～

私は大田市議になる前、仕事で米国に36年間住んでいました。米滞在中の2013年に、加州グレンデール市公園に慰安婦像が建ちました。碑文の最初に「I was a sex slave of Japanese military私は日本軍の性奴隷でした」と刻まれています。

米国人にとって「sex slave性奴隷」は「rape強姦」以上に酷い印象なのです。

実はこの像は2007年米国下院の所謂慰安婦決議を記念して設置されました。島根県議会の意見書もこの下院決議が根拠のように記されています。

米国の友人からは「島根県議会はなんてひどい意見書を採択したんだ！」と言われ、私は島根出身として恥ずかしく、在米日本人と特に子どもたちに対し申し訳ない思いが募っていました。何より我々日本の為に戦われた263万の英霊と軍人さんに対して申し訳ないです。

島根に戻って大田市議となり意見書撤回を求める有志の活動を応援し、私自身も微力ながら出来ることを実行してまいります。

島根県議会に歴史認識を正していただく県民の会 代表 林 常彦 TEL 090-7593-7435

[賛同団体] 慰安婦の真実国民運動、英霊の名誉を守り顕彰する会、なでしこアクション

↓ これが島根県議会の意見書全文です ↓

島根県議会 平成25年6月26日 可決

日本軍「慰安婦」問題への誠実な対応を求める意見書

日本軍「慰安婦」問題は、女性の人権、人間の尊厳にかかる問題であり、その解決が急がれています。

この問題について、日本政府は1993年「河野談話」によって「慰安婦」への旧日本軍の関与を認めて、歴史研究、歴史教育によってこの事実を次世代に引き継ぐと表明しました。

その後、2007年7月には、アメリカ議会下院が「旧日本軍が女性を強制的に性奴隷にした」として、「謝罪」を求める決議を全会一致で採択したのをはじめ、オランダ、カナダ、フィリピン、韓国、EUなどにおいても同様の決議が採択されているところです。

また、日本政府は、本年5月31日、国連の人権条約に基づく拷問禁止委員会より、「公人による**事実の否定、否定の繰り返し**によって、再び**被害者に心的外傷**を与える意図に反論すること」を求める勧告を受けるなど、国連自由権規約委員会、女性差別撤廃委員会、ILO専門家委員会などの国連機関から、繰り返し「慰安婦」問題の解決を促す勧告を受けてきているところでもあります。

このような中、日本政府がこの問題に誠実に対応することが、国際社会に対する我が国の責任であり、誠意ある対応となるものと信じます。そこで政府におかれては以下のことを求めます。

記

- 1 日本政府は「河野談話」を踏まえ、その内容を誠実に実行すること。
- 2 **被害女性**とされる方々が**二次被害**を被ることがないように努め、その**名誉と尊厳を守る**べく、真摯な対応を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。島根県議会

(提出先) 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 外務大臣 内閣官房長官

意見書撤回にむけての18回の請願など私たちの取り組みはこちらをご覧ください。

<http://nadesiko-action.org/?cat=35>

